



キリン食生活文化研究所

2016年4月19日
レポート vol.56

～あなたのくらしのアンケート～ **地元**

サマリー

「地元」と聞いてあなたは何を思い浮かべますか？

キリン食生活文化研究所は、「地元」について調査を実施(2016年2月23日～3月1日、全国、ウェブ調査)、男女20～69歳 計19,004名の方の回答をまとめました。

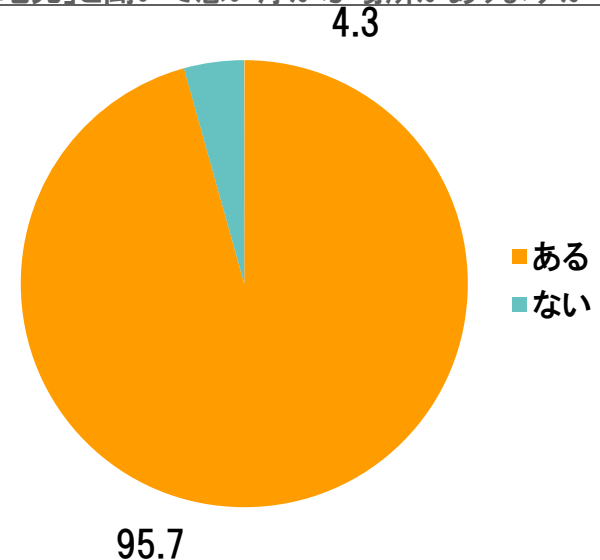
「地元」と聞いて思い浮かぶ場所は、「ある」と答えた方が96%と圧倒的に多数を占めました。

「地元」を最も感じる場所は、「生まれた場所」が最も多い一方で、「現在住んでいる場所」が地元だと答えた方も、50～60代の女性で多く見られました。

また、住んだ期間は、10年以上の方が9割を占め、特に北陸が多くなっています。長く住んだ人ほど、「地元」への安心感や愛着、生活の基盤になる所だと感じており、生活の一部としてなくてはならない場所になっているようです。「5～10年未満」の短い方でも、「地元」は懐かしい場所として心に残っています。

「地元」に関わる自由回答では、ずっとその場所に住み続けている方は、地域の行事や運営に積極的に参加し、地域の活性化や地元の伝統文化・自然を残す活動に携わる人もいます。一方、地元を離れた方では、日常生活の中で地元とのつながりを感じるちょっとした行動をしながら、心の中で地元を大切にすることも見受けられました。地元との関わりについて考えてみませんか？

Q.「地元」と聞いて思い浮かぶ場所がありますか？

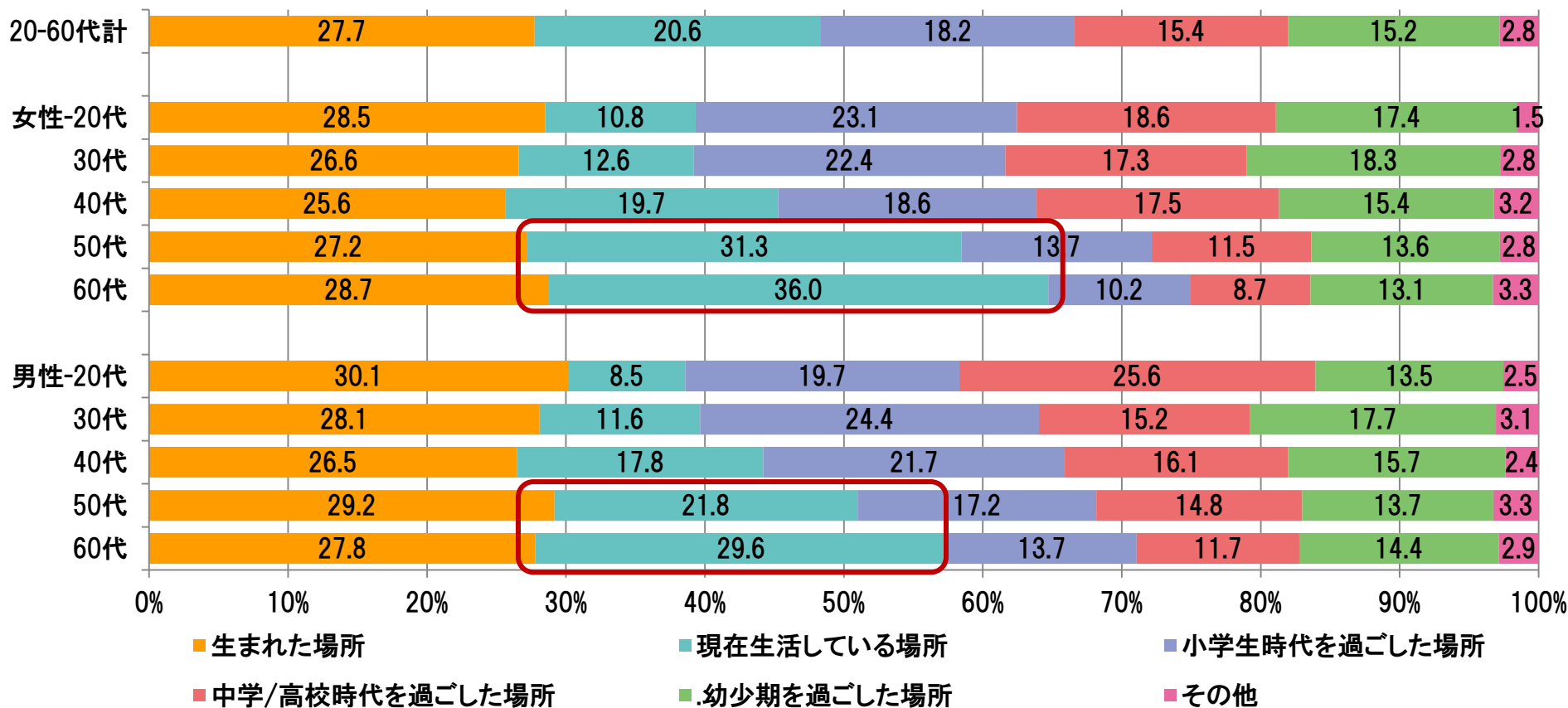


■ある
■ない

Q.「地元」と聞いて思い浮かべる場所は？（男女・年代別）

地元と聞いて最も思い浮かべるのはどの時期を過ごした場所かを聞いたところ、「生まれた場所」と答えた人が28%と一番多く、次いで「現在生活している場所」が2割強、「小学生時代を過ごした場所」と続く。中高年層ほど「現在生活している場所」を地元として思い浮かべる人が多く、特に女性の50代・60代でその傾向が強い。

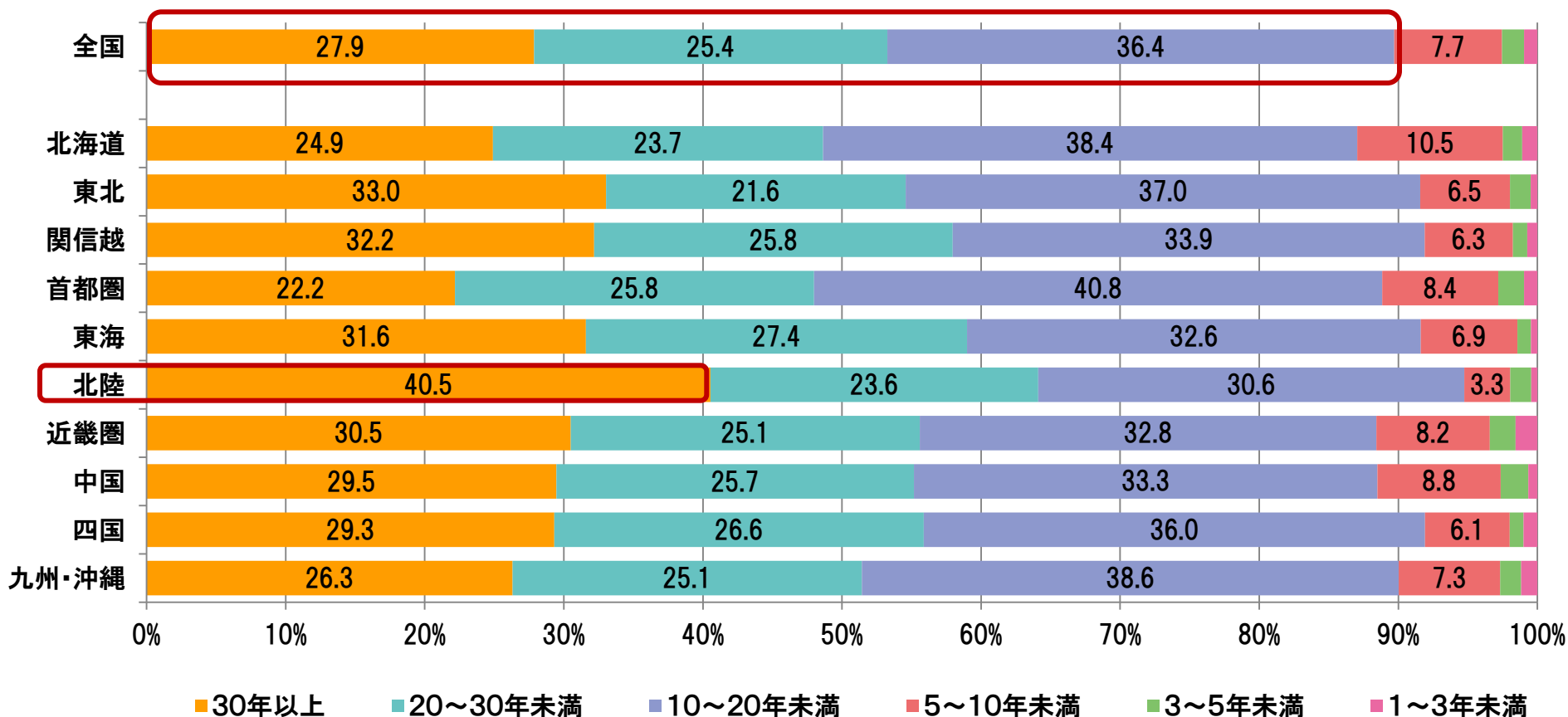
「地元」として思い浮かべる場所



Q.「地元」で何年ぐらい生活しましたか？（現住所別）

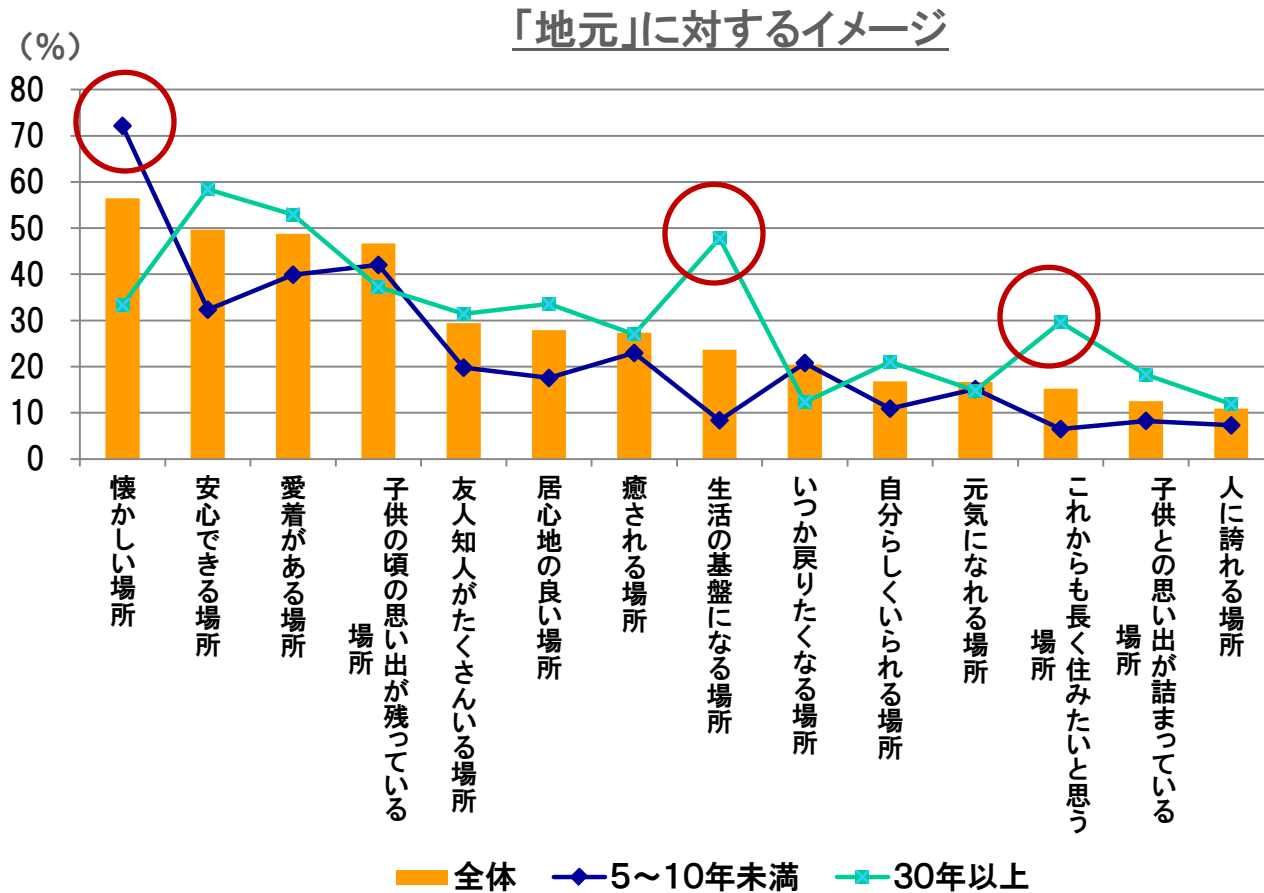
「地元」で生活した期間は「10～20年未満」が36%と最も多く、次いで「30年以上」(28%)、「20～30年未満」(25%)と続き、10年以上生活した人が全体の約9割を占める。現在住んでいるエリア別に見ると、北陸在住の方は、「30年以上」地元に住んでいると回答した割合が高く、その土地に住み続ける意向が強いと見られる。

「地元」で暮らした期間



Q.あなたにとって「地元」はどんな場所ですか？（地元生活年数別）

全体では、「懐かしい」「安心できる」「愛着がある」「子供の頃の思い出が残っている」場所として、地元を捉えている人が多い。地元で生活した年数別に見ると、長く住んだ人ほど安心感や愛着・生活の基盤と答える人が多く、これからも長く住みたいと思う場所になっている。一方で、「5～10年未満」の人にとって「地元」は懐かしい場所として心に残っている。



Q.あなたにとって「地元」はどんな場所ですか？（地元想起場所別）

どの時期を過ごしたかによって、地元がどんな場所かを比較して見ると、「幼少期」「小学生時代」「中学/高校時代」を過ごした場所は、「子供の頃の思い出が残っている」場所としてのイメージが強く、「友人知人がたくさんいる」ことも、他と比べて多い。一方で、「専門/短大/大学時代」「社会人時代」になるにつれて、「居心地の良い」場所が増えており、新たな場所で生活する中で徐々にそこが地元になっていく傾向も見られる。

「地元」に対するイメージ(地元想起場所別)

地元を感じる場所	1位	2位	3位	4位	5位
全体	懐かしい	安心できる	愛着がある	子供の頃の思い出が残っている	友人知人がたくさんいる
生まれた場所	懐かしい	安心できる	子供の頃の思い出が残っている	愛着がある	癒される
幼少期を過ごした場所	懐かしい	子供の頃の思い出が残っている	愛着がある	安心できる	癒される
小学生時代を過ごした場所	懐かしい	子供の頃の思い出が残っている	愛着がある	安心できる	友人知人がたくさんいる
中学/高校時代を過ごした場所	懐かしい	子供の頃の思い出が残っている	愛着がある	安心できる	友人知人がたくさんいる
専門/短大/大学時代を過ごした場所	懐かしい	愛着がある	安心できる	癒される	居心地の良い
社会人時代を過ごした場所	懐かしい	愛着がある	安心できる	居心地の良い	いつか戻りたくなる
現在生活している場所	生活の基盤になる場所	安心できる	愛着がある	居心地の良い	これからも長く住みたいと思う

Q.「地元」に関わる行動を何かしていますか？（自由回答・男性）

地元に関わる行動を自由回答で聞いたところ、地元に住み続けている人は、地域の行事や運営に積極的に参加し、地元の現在の子供達や未来の子供達に残す活動に携わっている。一方で地元を離れた人は、自分の地元のニュースや料理を作って食べるなど、日々の生活のちょっとした行動でも繋がりを感じようとしている。

「地元」に関わる具体的な行動

地元に住み続けている人

近所の人と挨拶をする。(20代男性/愛知在住)

地元の農家を応援するために、地元産の食材を必ず購入しています。(20代男性/山梨在住)

過疎が年々進んでいる。地域を活性化する行事に積極的に参加している。(20代男性/秋田在住)

地元消防団の班長、子供会の役員、保育園の保護者会長。(30代男性/岐阜在住)

同窓会幹事。(40代男性/鳥取在住)

サッカー少年団の指導者。(50代男性/北海道在住)

祭りの参加。花見の準備。長年の慣習。(50代男性/香川在住)

海上保安庁のボランティアをしております。海が近く小さい頃から海で泳いでいた、きれいな海を残したいから。(60代男性/広島在住)

地元を離れている人

Googleニュースで地元の地名で検索し、お昼休みにニュースを見ること。(20代男性/東京在住)

地元＝実家のイメージなので、実家・両親のために孝行している。(20代男性/東京在住)

名物のお好み焼きを定期的につけて食べる。慣れ親しんだ味を忘れないため。(20代男性/群馬在住)

地元川崎のJリーグの応援。(30代男性/静岡在住)

地域の祭りは毎年帰省して参加。地域の密着感を感じたいから。(30代男性/静岡在住)

地元の方言を使って喋る。方言がなくなりそうな感じがするので。(30代男性/大阪在住)

ふるさと納税、地元の名産品をお土産で買って帰りに人に勧める。(30代男性/大阪在住)

毎年の墓参り。(40代男性/岩手在住)

地元のグルメをSNSで発信。(50代男性/岩手在住)

都道府県対抗だと応援する。(60代男性/大阪在住)

Q.「地元」に関わる行動を何かしていますか？（自由回答・女性）

女性で地元に住み続けている人は、地域内での交流やボランティアが多く見られ、地元コミュニティでの繋がりを大切にしているように見える。また、地元を離れている人では、身の回りで地元の魅力を伝えたり、今住んでいる場所で獲得したことを地元を持って帰るといった回答も見られた。

「地元」に関わる具体的な行動

地元に住み続けている人

地元会というプチ同窓会パーティーをして、**地元の名産物を食べる**。(20代女性/広島在住)

地元の活性化と伝統芸能を残して守ることを目的として**和太鼓チームの指導**。(20代女性/富山在住)

自己紹介する時に**方言**を使う。(30代女性/富山在住)

自分が卒業した小学校で、**読み聞かせボランティア**。(30代女性/栃木在住)

犬の散歩をしていると出会う**老若男女に挨拶**をする
と楽しいし新鮮な気持ちになる。(40代女性/三重在住)

子供会など、**地域の方々との交流**にも参加しながら、**助っ人**をしている。(40代女性/静岡在住)

昔からあるバドミントンサークルに参加して、**地域のリーグ戦に毎年参加**している。(50代女性/新潟在住)

行事参加、新年会、祭り、隣組での催しなど色々な人と交わり、食事をともにして、お酒をいただき、**ワイワイガヤガヤとお喋り**している。(50代女性/新潟在住)

地元を離れている人

地元発祥の**アイスクリームを食べる**。それを食べると地元だという感じがする。(20代女性/大阪府在住)

帰省した際は**お金をたくさん遣う事**を心がけている
地元経済がよくなるよう願って。(20代女性/東京在住)

少しでも綺麗な場所であって欲しいので、帰省した時には**恩師とゴミ拾い**。(20代女性/北海道在住)

Twitterで**地元の話**や**ニュース**について**発信**する。
(30代女性/東京在住)

近所で地元観光PRのイベントをしていたら、**がんばってください！と声をかける**。(30代女性/北海道在住)

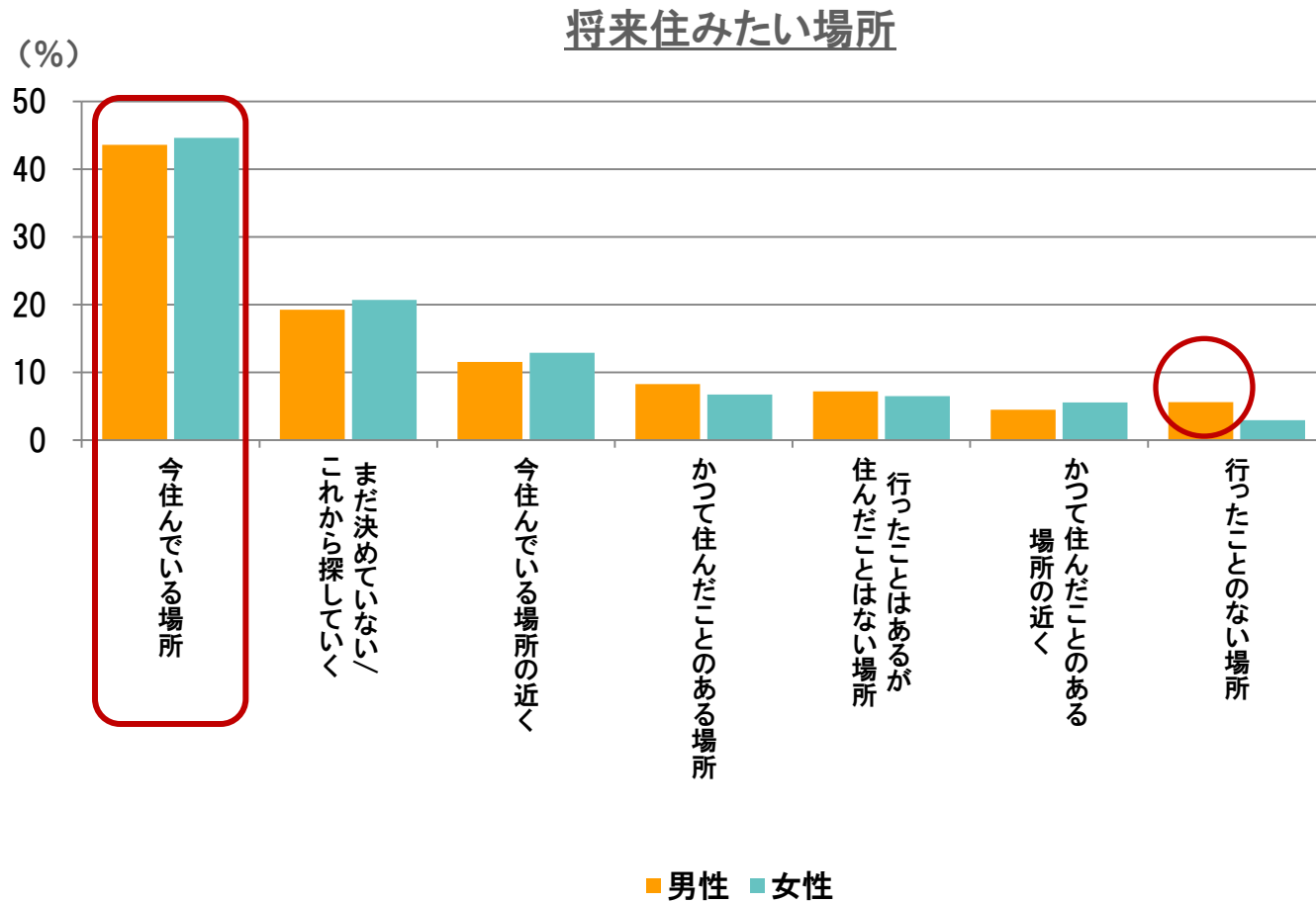
郷土料理を色んな方々に食べてもらう活動をしています。食を通して色んな方々と交流し、**地元の良さをアピール**しています。(40代女性/石川在住)

こちらで得た情報と技術を地元でも展開するために人を集めて教えている。(50代女性/東京在住)

通販で地元産の果実を購入。(60代女性/大阪府在住)

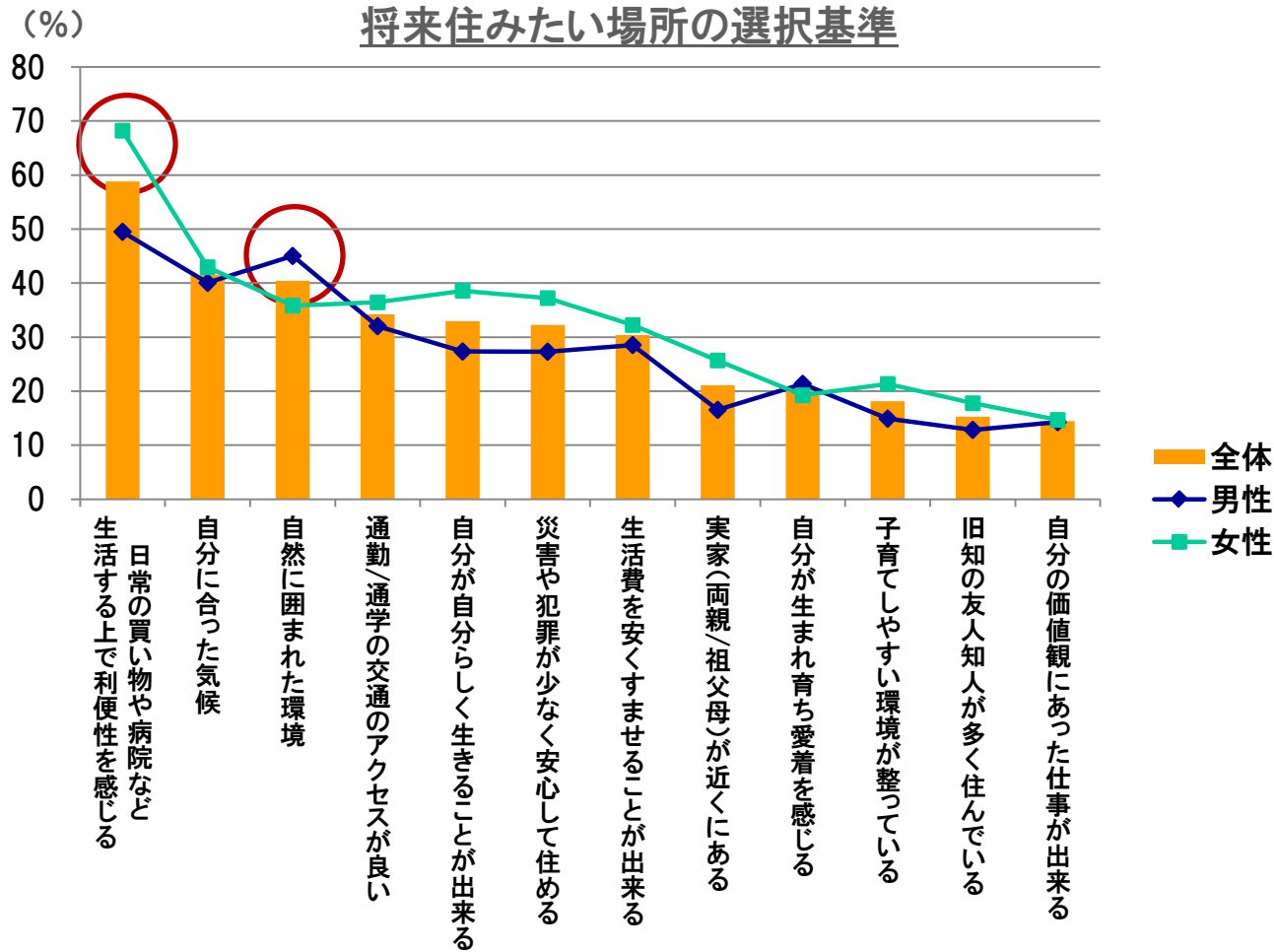
Q. 将来住もうと考えている場所は？（男女別）

次に、将来住みたい場所を聞いたところ、「今住んでいる場所」と答えた人が男女共に4割強と最も多く、次いで「まだ決めていない/これから探していく」、「今住んでいる場所の近く」と続く。人数は少ないが、「行ったことのない場所」と答える人は、女性よりも男性に多く見られる。



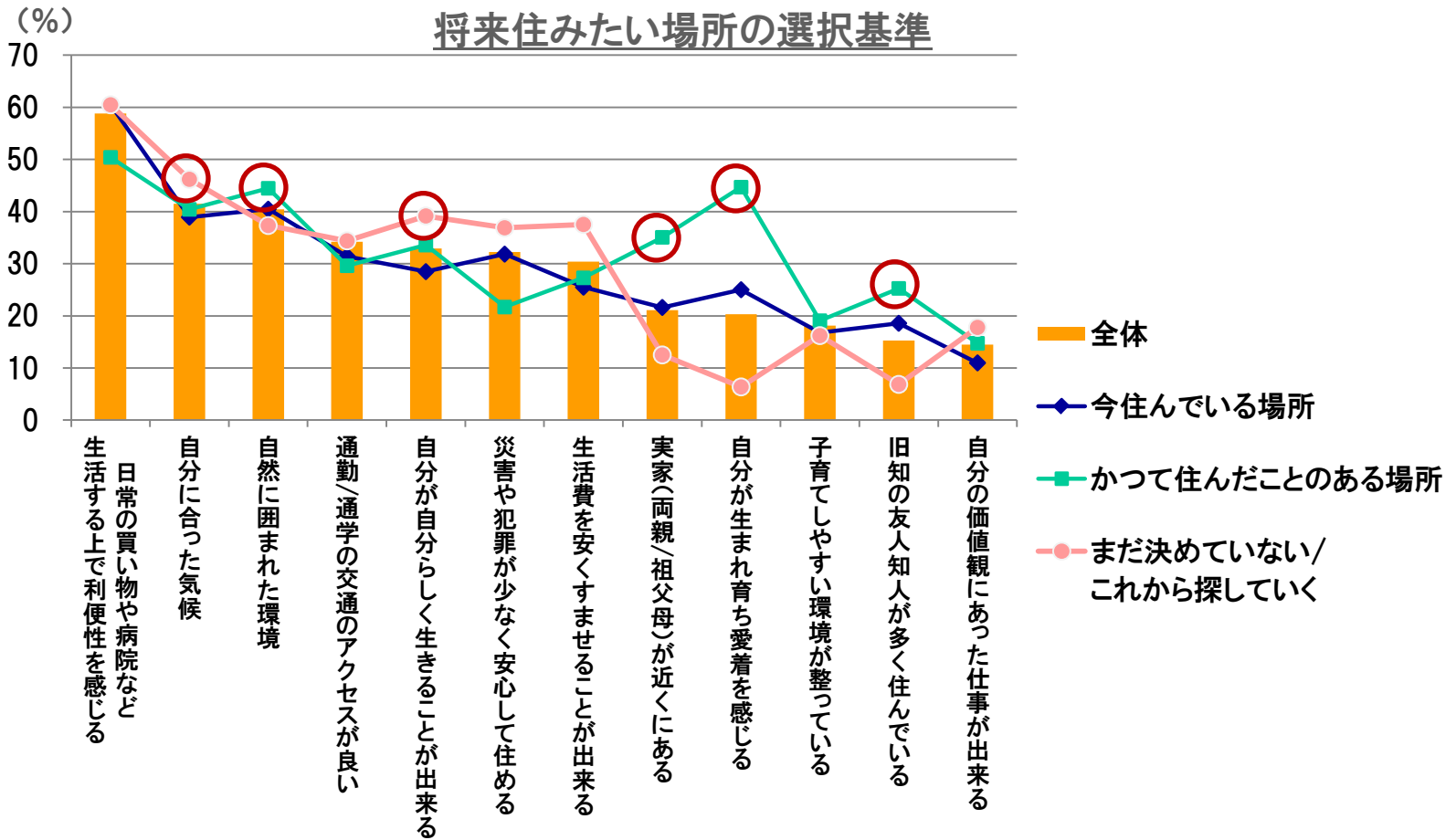
Q. 将来住みたい場所を選ぶ際に重視する条件は？（男女別）

将来住みたい場所を選ぶ際に最も重視しているのが、「日常の買い物や病院など生活する上で利便性を感じる」点で、特に女性では7割を占め高い。女性は、街の防犯や子育て環境なども重視しており、現実的な生活を中心に住む場所を検討する一方で、男性は「自然に囲まれた環境」を重視している人が多い。



Q. 将来住みたい場所を選ぶ際に重視する条件は？（住みたい場所別）

これから住もうとしている場所別に重視しているポイントを見比べると、かつて住んだことのある場所に戻りたいと答えた人は、「自分が生まれ育ち愛着を感じる」や「自然に囲まれた環境」「実家が近くにある」などの項目を大切にしていることがわかる。一方で、これから探していく人は、過去のコミュニティよりも「自分に合った気候」「自分らしく生きる」ことを重視しながら理想の場所を探している。



Q. 将来住みたい場所に必要なのは？（住みたい場所別）

将来住みたい場所に必要のことを聞いたところ、「貯蓄やある程度の財産」が7割弱とダントツに高かった。また、「安定的な収入を得られる仕事」「自分や家族の健康」についても4割以上が必要と回答し、生活の基盤の確保を最優先していることが分かる。「かつて住んだことのある場所」に戻るには、「家族の理解や協力」「新たに住む場所の確保」を挙げる人が多く見られた。

